

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
53131	事業系廃棄物適正処理事業	環境部	廃棄物対策課	シートB	2
53131	廃棄物適正処理事業(廃棄物処理業等許可)	環境部	廃棄物対策課	シートB	4
53131	廃棄物適正処理事業(PCB)	環境部	廃棄物対策課	シートB	6
53131	松山市廃棄物処理施設審議会運営事業	環境部	廃棄物対策課	シートB	8
53131	廃棄物適正処理事業(不法投棄・野外焼却)	環境部	廃棄物対策課	シートB	10
53231	産業廃棄物最終処分場支障等除去事業	環境部	廃棄物対策課	シートB	12

令和4年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	適正処理指導担当	連絡先	948-6959				
	部等長名	中島 郁	課等長名	荻山 真五	リーダー名	主幹	西村 敏幸	担当者名	主査	片坐 讓司	主任	砂田 清和
令和3年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	事業所指導担当	連絡先	948-6959				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	門屋 充哲	リーダー名	副主幹	徳永 努	担当者名	副主幹	坂東 範庸	主任	本田 高士

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	53131	事業系廃棄物適正処理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	豊かな自然と共生する			重点プロジェクト	-	
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	廃棄物処理業者に対する指導・監視の強化のみならず、事業所や一般家庭に対する啓発活動を実施するなど、適正処理の徹底を図るとともに、不適正処理等については、迅速かつ適切に対応し、生活環境の保全に取り組みます。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例					
事業の目的(どのような状態にするか)	市内の事業所に事業系廃棄物の分別及び減量・再資源化等に関する啓発を実施し、適正処理の確保を図ることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	廃棄物処理法で、事業者は事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理する責務があるとされているため、事業所への適正処理の周知啓発や指導、立入検査を行っている。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市内の事業者に対して、 ・廃棄物の分別の徹底、適正処理等について示した「事業者用ごみ分別はやわかり帳」等の送付による周知啓発。 ・産業廃棄物の排出事業者のマニフェストの交付状況の報告を求めるとともに、多量に産業廃棄物を排出する事業者に処理や減量の計画書の提出を求め、状況等を確認。 ・廃棄物の保管や処理を行う事業者に立入検査を実施。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	衛生費	項	清掃費	目	減量対策費	R3 予算措置時期	
									当初	
				R2年度			R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				7,881			4,237		4,677	
決算額(B)(単位:千円)				6,246			2,959			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金		0		0		0		0	
	県支出金		6,025		2,837		4,470			
	市債		0		0		0		0	
	その他		0		0		0		0	
一般財源		221		122		207				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算				需用費720千円 役務費1,610千円 委託料371千円			需用費923千円 役務費2,457千円 委託料958千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			1,635		1,278	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	「事業者用ごみ分別はやわかり帳」等の作成及び事業者への送付による廃棄物の適正処理の周知啓発 ・廃棄物の保管及び処理を行う事業者への立入検査の実施					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	事業者への立入検査やごみ分別はやわかり帳の送付などにより、廃棄物の適正処理について周知啓発等を行うことができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	事業者への廃棄物の分別及び減量・再資源化等の指導啓発は、事業系廃棄物の適正処理推進の一助となっている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染状況に応じた廃棄物処理業者への周知啓発の実施が必要となっている。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		「事業系ごみ適正処理シリーズ」のリーフレットや、「事業者用ごみ分別はやわかり帳」を事業者等に配布するなど、周知啓発を強化し、廃棄物の適正処理を推進する。また、令和4年度は業種に特化した「啓発用ポスター」を作成し、周知啓発を行う。	
R4年度の目標	啓発リーフレット・ポスターを作成・配布することなどにより、事業者が排出する廃棄物の適正処理を推進する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・「事業系一般廃棄物減量等計画書」、「産業廃棄物処理計画書」等による事業者の取組の確認 ・「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」の確認 ・排出事業者への立入検査の実施 ・「事業系ごみ適正処理シリーズ」のリーフレットの発行 ・「啓発用ポスター」の作成	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	啓発リーフレット(事業者用ごみ分別はわかり帳)の作成及び配布	件	目標値	21,000	21,000	21,000	17,500	17,500	目標値	17,500	
			実績値	18,336	17,981	17,231			達成年度	R5	
		%	達成度	87	86	82					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	環境総合計画の目標値の達成に加え、周知できていない事業者を新たに抽出するなど、可能な限り多くの事業者に周知する。				
	本指標の設定理由	環境総合計画に定める指標のため									
	排出事業者立入検査回数	回	目標値	75	75	75	60	60	目標値	60	
			実績値	67	60	50			達成年度	R5	
		%	達成度	89	80	67					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	立入検査を適時に実施し、不適正処理の防止に繋げる。				
	本指標の設定理由	不適正処理を防止する取組を示す数値であるため									
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	事業系一般廃棄物減量等計画書の回収率	%	目標値	85	85	85	85	85	目標値	85	
			実績値	78	83	83			達成年度	R5	
		%	達成度	92	98	98					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	過去の最高値を目標とする。				
	本指標の設定理由	事業系一般廃棄物の処理状況の把握に適しているため									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
		目標値						目標値			
		実績値						達成年度			
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	・広く事業者へ周知・啓発を行うことができた。 ・事業者立入検査回数については、重ねて立入検査を要する事業者が多かったため目標に達しなかったが、廃棄物の適正処理について適時に指導を行うことができた。									
	成果指標	周知・啓発・指導を行うことで、目標値に近い水準で計画書の回収をすることができた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	許可担当	連絡先	948-6912				
	部等長名	中島 郁	課等長名	荻山 真五	リーダー名	副主幹	八束 陽介	担当者名	副主幹	汐見 不二雄	主任	渡邊 晃文
令和3年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	廃棄物処理業許可担当	連絡先	948-6912				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	門屋 充哲	リーダー名	副主幹	八束 陽介	担当者名	副主幹	汐見 不二雄	主任	渡邊 晃文

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	53131	廃棄物適正処理事業(廃棄物処理業等許可)				事業性質	2:その他	事業区分	2:委託	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	豊かな自然と共生する					重点プロジェクト	-			
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進					主な取り組み	-			
主な取り組み	ごみの適正処理の推進				市長公約					
取り組みの柱	廃棄物処理業者に対する指導・監視の強化のみならず、事業所や一般家庭に対する啓発活動を実施するなど、適正処理の徹底を図るとともに、不適正処理事業については、迅速かつ適切に対応し、生活環境の保全に取り組みます。									
総合戦略	基本目標	-			取組み	-				
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例								
事業の目的(どのような状態にするか)	廃棄物処理業及び廃棄物処理施設設置の許可業務に関し、処理業者の指導・監督を行うことで、廃棄物の適正処理を確保し、市民の生活環境向上に寄与する。									
背景(どのような経緯で開始したか)	産業廃棄物処理業等の許認可業務が、平成10年4月1日に愛媛県から移譲されたことに伴い、許可業者等の指導・監督業務が必要となったもの。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物(一般廃棄物及び産業廃棄物)処理業者に対して、立入検査や講習会等を実施する。 ・産業廃棄物処理業者の専門的知識及び技能向上を目的とした講習会開催のため、一般社団法人えひめ産業資源循環協会へ委託料を支出する。 ・排出事業者が産業廃棄物の処理委託先を選定する際、容易に処理業者の情報に接することができるよう作成した廃棄物許可業者検索サイトの維持管理をするため、専門業者へ委託料を支出する。 ・廃棄物行政担当職員に対して、講習会を実施する。 									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	~ 令和		4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	衛生費	項	清掃費	目	廃棄物対策費	R3 予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						22,172		46,999			50,345
決算額(B)(単位:千円)						13,534		42,245			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳		国支出金				0		0			0
		県支出金				12,535		37,019			38,028
		市債				0		0			0
		その他				881		4,674			3,706
		一般財源				118		552			8,611
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							需用費:3,343千円 役務費:3,263千円 委託料:2,159千円			需用費:4,390千円 役務費:3,578千円 委託料:2,931千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							「廃棄物適正処理事業(PCB)」及び「廃棄物適正処理事業(不法投棄・野外焼却)」の内訳集約。				
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			8,638		4,754			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理業者等への立入検査及び指導監督の実施 ・産業廃棄物処理業者を対象とした講習会の開催 ・廃棄物許可業者検索サイトの維持管理及び更新の実施 										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響で廃棄物処理業者への立入検査が実施できない時期があったが、必要な立入検査を維持することで、不適正処理は防止されている。				
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		不適正処理を防止することで、市民の生活環境の保全を図ることができるため。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染状況に応じた廃棄物処理業者への立入検査の実施が必要となっている。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			過去に違反があった業者への立入検査回数を増やすなど、効率的でメリハリのある立入検査を実施する。			
R4年度の目標	廃棄物処理業者等に、年間234回立入検査を行い、廃棄物の適正処理を確保する。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理業者等への立入検査の実施及び指導監督 ・産業廃棄物処理業者を対象とした講習会の開催 ・廃棄物処理業者検索サイトの維持管理及び更新 ・自治体職員向け講習会の開催 			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	産業廃棄物処理業者等立入検査回数	回	目標値	280	280	240	234	234	目標値	234	
			実績値	280	234	250			達成年度	R5	
		%	達成度	100	84	104					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	効率的でメリハリのある立入検査を計画的に実施し、指導を行うことで、不適正処理の防止に繋げる。				
	本指標の設定理由	不適正処理を防止する取り組みを示す数値であるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	廃棄物処理業者等の指導件数	件	目標値	15	15	15	15	15	目標値	15	
			実績値	12	5	10			達成年度	R5	
		%	達成度	120	167	133					
	指標の種類	6.現状維持を目指す指標(減を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	業者指導により、優良な業者を育成し、件数を減少させていく。				
	本指標の設定理由	業者指導により、廃棄物の不適正処理を削減することが目標であるため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	コロナ禍の影響で立入検査の実施が難しい時期もあったが、最終的には計画どおり立入検査を実施することができた。									
	成果指標	業者に対する立入検査の継続実施により、廃棄物処理業者の指導件数は、目標値以内に抑えることができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	適正処理指導担当	連絡先	948-6959			
	部等長名	中島 郁	課等長名	荻山 真五	リーダー名	主幹	西村 敏幸	担当者名	主査	片坐 讓司	
令和3年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	事業所指導担当	連絡先	948-6959			
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	門屋 充哲	リーダー名	副主幹	徳永 努	担当者名	副主幹	坂東 範庸	主任 本田 高士

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	53131	廃棄物適正処理事業(PCB)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	豊かな自然と共生する			重点プロジェクト	-	
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	廃棄物処理業者に対する指導・監視の強化のみならず、事業所や一般家庭に対する啓発活動を実施するなど、適正処理の徹底を図るとともに、不適正処理事案については、迅速かつ適切に対応し、生活環境の保全に取り組みます。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法						
事業の目的(どのような状態にするか)	PCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物に関して、市内の保管事業所等に対し周知・啓発を行い、PCB特措法で定められた期間内での適正処理を促進し、市民の生活環境向上に寄与する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	PCB廃棄物の適正処理を推進するため、平成13年に「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」が施行され、一定濃度のPCBを含む廃棄物については、定められた期間内に事業者による適正処理が義務付けられた。					
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	・PCB特別措置法に基づき、PCB保管事業者等届出書の提出対象となっている市内の事業者に対して、立入検査を実施。 ・市内事業所のPCB廃棄物保有の有無を確認するため、株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ中国支社愛媛オフィスへ委託料を支出。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 9		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	衛生費	項	清掃費	目	廃棄物対策費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				4,663			2,178		0	
決算額(B)(単位:千円)				3,997			1,078			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0		0	
	県支出金			3,700			925		0	
	市債			0			0		0	
	その他			261			0		0	
一般財源			36			153		0		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算							委託料:1,078千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							「廃棄物適正処理事業(廃棄物処理業等許可)」に 内訳集約。			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			666		1,100	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・PCB廃棄物保管事業者への立入検査の実施 ・PCB廃棄物の掘り出し調査の実施					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	掘り出し調査の実施により、新たにPCB廃棄物の保管事業者等が確認された。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	PCB廃棄物の適正処理を進めることで、市民の生活環境の保全を図ることができるため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	令和2年度をもって、高濃度PCB廃棄物(安定器等)の処理期限が終了した。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	保管事業者等を確認した場合、期限内の処理を指導する。	
R4年度の目標	PCB廃棄物の期限内処理に向けて、保有業者への立入検査を20回以上実施する。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	・PCB廃棄物保管事業者への立入検査の実施	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	PCB廃棄物保管業者への立入検査数	回	目標値	20	20	20	20	20	目標値	0	
			実績値	20	32	28			達成年度	R9	
		%	達成度	100	160	140					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	PCB廃棄物の適正処理が進み、最終的に保管事業者数が0となる。				
	本指標の設定理由	PCB特措法による処理期限までに適正処理を完了させるための指導の指標になる。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	PCB廃棄物保管事業者数	件	目標値	150	130	110	90	70	目標値	0	
			実績値	141	128	93			達成年度	R9	
		%	達成度	106	102	115					
	指標の種類	4.累計での減少を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	PCB廃棄物の適正処理が進み、最終的に保管事業者数が0となる。				
	本指標の設定理由	PCB特措法による処理期限までに適正処理を完了させるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	適正処理が進み、実績値を減少させることができた。									
	成果指標	PCB廃棄物の処理費用は高額であることから、低濃度PCB使用機器の保有事業者の多くは令和8年度の処理期限間際まで機器を使用または保有することが想定されるため、現時点では処理実績が少なくなっているものと考えられる。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	許可担当	連絡先	948-6912				
	部等長名	中島 郁	課等長名	荻山 真五	リーダー名	副主幹	八束 陽介	担当者名	副主幹	汐見 不二雄	主任	渡邊 晃文
令和3年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	廃棄物処理業許可担当	連絡先	948-6912				
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	門屋 充哲	リーダー名	副主幹	八束 陽介	担当者名	副主幹	汐見 不二雄	主任	渡邊 晃文

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	53131	松山市廃棄物処理施設審議会運営事業				事業性質	2:その他	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	豊かな自然と共生する					重点プロジェクト	-		
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	ごみの適正処理の推進				市長公約				
取り組みの柱	廃棄物処理業者に対する指導・監視の強化のみならず、事業所や一般家庭に対する啓発活動を実施するなど、適正処理の徹底を図るとともに、不適正処理事業については、迅速かつ適切に対応し、生活環境の保全に取り組みます。								
総合戦略	基本目標	-			取組み				
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				

根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法、松山市廃棄物処理施設審議会条例								
事業の目的(どのような状態にするか)	廃棄物処理施設の設置等に関する専門的事項について調査審議することで、生活環境保全上の支障が生じないよう、市民の安全・安心を確保していく。								
背景(どのような経緯で開始したか)	廃棄物処理法第15条の2、地方自治法第138条の4の3及び松山市廃棄物処理施設審議会条例(平成24年制定)による。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	構成員:9名(一般財団法人廃棄物資源循環学会元会長、税理士、弁護士及び大学教授等) 内容等:廃棄物処理施設の設置等に関する専門的事項を調査審議する。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	~ 令和		6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	廃棄物対策費	R3 予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						0		3,506			1,154
決算額(B)(単位:千円)						0		1,968			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金			0		0			0
			県支出金			0		1,968			1,154
			市債			0		0			0
			その他			0		0			0
			一般財源			0		0			0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算							委員報酬:216千円 普通旅費:365千円 委託料:1,269千円			委員報酬:200千円 報償費:114千円 普通旅費:837千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等							「廃棄物適正処理事業(廃棄物処理業等許可)」から事業分割。				
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			0		1,538			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	民間の産業廃棄物最終処分場の不適正処理事業(以下、「不適正処分場」とする。)に関して、審議会(部会を含む)で審議する。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など				予定どおり、審議会及び技術検討部会を実施することができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		審議会からの評価及び意見をj得ることで、産業廃棄物最終処分場支障等除去事業の今後の対応方針を決定することができるため。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	特に無し				環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策				特に無し		
R4年度の目標	引き続き必要な時期に審議会を年1回以上開催し、廃棄物処理施設に関して専門的事項について調査審議することで、不適正処分場の維持管理や、新規民間処理施設の設置を適正に行う。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				不適正処分場等に関するjことについて、審議会(部会を含む)を開催し、審議する。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	審議会開催回数	回	目標値	2	2	1	1	1	目標値	1	
			実績値	2	2	1			達成年度	R5	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	不適正処分場等について、定期的に審議会から専門的意見をもらうことで、適正な維持管理や新規処理施設の設置に繋げる。				
	本指標の設定理由	審議会の実施の指標となるため									
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値						目標値		
%			達成度					達成年度			
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	不適正処分場の維持管理状況に対して了承された審議会の回数	回	目標値	1	1	1	1	1	目標値	1	
			実績値	1	1	1			達成年度	R5	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	維持管理状況に問題がないことを継続するため				
	本指標の設定理由	最終処分場の維持管理状況に問題ないかの指標であるため									
		目標値	実績値						目標値		
			%	達成度					達成年度		
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値	実績値						目標値		
%			達成度					達成年度			
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	審議会を適当な回数開催することで、新規民間処理施設の設置等を適正に行うことができた。									
	成果指標	不適正処分場の維持管理状況に対して、審議会からの了承を得ることで、市民の安心・安全の確保につなげることができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	適正処理指導担当	連絡先	948-6913				
	部等長名	中島 郁	課等長名	荻山 真五	リーダー名	主幹	西村 敏幸	担当者名	主任	野本 通義	主任	宇高 一弘
令和3年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	不法投棄対策担当	連絡先	948-6913				
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	門屋 充哲	リーダー名	副主幹	東 元	担当者名	主任	野本 通義	主任	宇高 一弘

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	53131	廃棄物適正処理事業(不法投棄・野外焼却)				事業性質	2:その他	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	豊かな自然と共生する					重点プロジェクト	-		
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	ごみの適正処理の推進				市長公約				
取り組みの柱	廃棄物処理業者に対する指導・監視の強化のみならず、事業所や一般家庭に対する啓発活動を実施するなど、適正処理の徹底を図るとともに、不適正処理事業については、迅速かつ適切に対応し、生活環境の保全に取り組みます。								
総合戦略	基本目標	-				取組み			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
事業の目的(どのような状態にするか)	不法投棄や野外焼却の監視及び未然防止に関し、パトロールの強化・監視カメラの設置等を行うことで、廃棄物の適正処理を確保し、市民の生活環境向上に寄与する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	廃棄物の不法投棄等が社会問題化し、その対策として、監視パトロールの実施や監視カメラの設置及び警察等との連携による不法投棄等の対策強化が必要となったもの								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	不法投棄や野外焼却の監視及び未然防止のため、監視パトロール及び指導・啓発を実施								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	~ 令和		4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	衛生費	項	清掃費	目	廃棄物対策費	R3 予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						43,138		10,662		11,319	
決算額(B)(単位:千円)						36,403		9,598			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					0		0		0	
	県支出金					32,943		8,329		8,348	
	市債					0		0		0	
	その他					3,460		0		0	
一般財源					0		1,269		2,971		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料:6,325千円 使用料及び賃借料:912千円 備品購入費:1,700千円		委託料:9,700千円 使用料及び賃借料:844千円 工事請負費:385千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						「廃棄物適正処理事業(廃棄物処理業等許可)」に 内訳集約。					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		6,735		1,064			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	職員による不法投棄等監視パトロールの実施 委託による不法投棄等監視パトロールの実施 スカイパトロールの実施										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			不法投棄防止合同啓発活動については、これまで車列によるパレードを行っていたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、航空機や車両での啓発を行った。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		不法投棄や野外焼却を防止することで、市民の生活環境の保全を図ることができるため。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	同一箇所では不法投棄事業が複数回発生している。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			不法投棄事業が複数回発生する箇所に、監視カメラの設置や移設を検討・実施する。		
R4年度の目標	パトロール等による未然防止によって、不法投棄及び野外焼却件数を185件以下に抑制し、不適正処理の防止する。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			職員による不法投棄等監視パトロールの実施 委託による不法投棄等監視パトロールの実施 スカイパトロールの実施 不法投棄防止啓発活動の実施		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	不法投棄対応件数	件	目標値	203	195	190	185	180	目標値	180	
			実績値	176	166	193			達成年度	R5	
			% 達成度	113	115	98					
	指標の種類	6.現状維持を目指す指標(減を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	本来ゼロであることが望ましいが、年々減少させていくことが現実的であるため			
	本指標の設定理由	本事業での活動を示す指標であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	不適正処理指導件数	件	目標値	38	39	39	39	39	目標値	39	
			実績値	18	19	37			達成年度	R5	
			% 達成度	153	151	105					
	指標の種類	6.現状維持を目指す指標(減を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	不適正処理の根絶が困難な中で、継続的に取り組み、大幅な増加を抑制する。			
	本指標の設定理由	事業実績を表す数値として適しているため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	不法投棄対応については、件数が増加したため、職員や委託業者によるパトロールを積極的に行った。									
	成果指標	不適正処理指導については、事案増加となったものの、適正な指導をすることができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	指導及び許可担当	連絡先	948-6912				
	部等長名	中島 郁	課等長名	荻山 真五	リーダー名	主幹	西村 敏幸	担当者名	副主幹	八東 陽介	副主幹	汐見 不二雄
令和3年度	部局等名	環境部	課等名	廃棄物対策課	担当グループ名	許可及び事業所担当	連絡先	948-6912				
	部等長名	宇野 哲郎	課等長名	門屋 充哲	リーダー名	副主幹	徳永 努	担当者名	副主幹	八東 陽介	副主幹	汐見 不二雄

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	53231	産業廃棄物最終処分場支障等除去事業				事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	豊かな自然と共生する						重点プロジェクト	-	
施策	環境保全・配慮型まちづくりの推進						主な取り組み	-	
主な取り組み	環境汚染の抑制					市長公約	-		
取り組みの柱	環境保全のための法律に基づき、環境規制対象事業場に対する排出基準遵守の指導や、汚染事案に対する適正処理の実施などをおとして、環境基準の達成に努めます。						-		
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-				-			
	施策	-				-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				

根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法									
事業の目的(どのような状態にするか)	民間の産業廃棄物最終処分場の不適正処理事案に関して、行政代執行により最終処分場の維持管理を行い、市民の安全・安心を確保していく。									
背景(どのような経緯で開始したか)	民間の産業廃棄物最終処分場で不適正処理が行われ、廃棄物の流出等の生活環境保全上の支障のおそれが生じた。そこで、市は、平成25年4月9日付で環境大臣の同意を得た支障除去等実施計画に基づき、国の支援の下、平成25年度～令和2年度まで産廃特措法事業を行った。産廃特措法事業が完了した後も、行政代執行で最終処分場の維持管理を行う必要がある。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	行政代執行で最終処分場の維持管理を行う。 行政代執行に要した費用を、原因者に求償する。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	平成	25	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	衛生費	項	清掃費	目	廃棄物対策費	R3 予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						90,961		73,340			79,680
決算額(B)(単位:千円)						68,108		31,961			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金					0		0			0
	県支出金					0		0			0
	市債					52,200		0			0
	その他					0		2,691			0
	一般財源					15,908		29,270			79,680
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							・役務費2,515千円 ・需用費8,949千円 ・委託料15,147千円			・役務費4,187千円 ・需用費29,007千円 ・委託料37,186千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)	22,853	41,379			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	最終処分場の維持管理が適切に行われているか、水質検査等のモニタリングの結果から確認した。 ・レッグ(法人)社長の死亡により、管理責任が不透明な状況になったことから松山地方裁判所に破産手続開始の申立を行った。 これにより、最終処分場内のレッグ名義の土地を無償で取得し、これ以上回収できる財産がないため、レッグ(法人)に対する求償権は消滅となった。 ただし、残の原因者(レッグの元社長)への求償は継続する。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			維持管理を適正に行うことができた。 破産手続により、最終処分場内のレッグ名義の土地を市が無償で取得することができた。 これにより、最終処分場の維持管理を安定して行うことができる。				
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			生活環境が保全され、市民の安全・安心が確保された。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	産廃特措法事業が令和2年度に終了した後も、処分場は廃止基準に適合するまで(維持管理の必要がない程度に無害化するまで)、今後10年～20年程度、継続する必要がある。したがって、長期的に対応できる組織体制を構築し、維持する必要がある。					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策			維持管理業者に地震等の災害が起こった場合でも事業を継続することができる計画(BCP)を策定させるなどで円滑に業務を遂行する。	
R4年度の目標	特措法事業が完了した後も維持管理を継続するため、水質等のモニタリングを毎月1回以上行うことで、適正な維持管理を確認するとともに、廃止に向けた動向を見ていく。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			・維持管理の状況をモニタリングする。 ・原因者に対する求償事務を行う。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	最終処分場の水質等のモニタリング回数	回	目標値	12	12	12	12	12	目標値	12	
			実績値	12	12	12	12	12	達成年度	-	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)						最終目標値の設定の考え方	毎月1回のモニタリングを行うものとして設定。		
	本指標の設定理由	最終処分場の維持管理状況を確認するために必要なモニタリングの回数であるため									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類							最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
指標の種類							最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	維持管理基準の不適合回数	回	目標値	0	0	0	0	0	目標値	0	
			実績値	0	0	0	0	0	達成年度	-	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	6.現状維持を目指す指標(減を良しとする)						最終目標値の設定の考え方	維持管理基準を満足することが必要であるため。		
	本指標の設定理由	最終処分場の適正な維持管理のためには、水質等のモニタリング数値が維持管理基準を満たす必要があるため、維持管理基準を超過した回数「0」を良とする。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類							最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
指標の種類							最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	最終処分場の水質等の状況を毎月確認することができた。									
	成果指標	最終処分場の維持管理基準を全て満足し、適正な維持管理を行うことができたことから、市民の安全安心の確保に役立った。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											